

*****制限事項通知統合版*****
 * 本文書は、NECマイクロコンピュータ技術文書閲覧サービスの開始にあたり、既に通知させて頂いて *
 * ありました制限事項を1つの文書にまとめたものです。2001年9月18日時点の全ての制限事項が *
 * 掲載されています。 *
 * *****

NECマイクロコンピュータ技術情報

		頁数	1/1
技術通知 μPD780338 サブシリーズ		発行番号	SBG-T-2508号
		発行日	平成13年9月18日
		発行元	日本電気株式会社 NECエレクトロニクス ソリューション技術本部 マイクロコンピュータ技術部
関連資料	ユーザズ・マニュアル(U14701JJ1V0UM00)	文書分類	使用制限事項通知 2 バージョンアップ通知 3 ドキュメント訂正通知 4 その他の通知

CP(K).O

1. 対象製品
- μPD780336 / μPD780338
 - μPD780326 / μPD780328
 - μPD780316 / μPD780318
 - μPD78F03338

2. 制限事項一覧
- 制限事項の履歴とその詳細情報について別紙に記載いたします。

以上

μPD780338サブシリーズ使用制限事項一覧

1) 製品バージョン

- ・ μPD780336 / μPD780338 : K規格
- ・ μPD780326 / μPD780328 : K規格
- ・ μPD780316 / μPD780318 : K規格
- ・ μPD78F0338 : K, E規格

製法規格はパッケージ捺印のLOT番号で左から5桁目のアルファベット表記になります。

2) 製品履歴

<マスク品>

	内容	UPD780336 / UPD780338 UPD780326 / UPD780328 UPD780316 / UPD780318	
		製法規格	K
項目 1	赤外線通信機能に関する制限事項		
項目 2	A/Dの変換時間選択に関する制限事項		
項目 3	LCD スペックに関する制限事項		
項目 4	16ビットタイマ制限事項		
項目 5	フラッシュ・メモリ書き込みに関する制限事項		-

<フラッシュ品>

	内容	UPD78F0338		
		製法規格	K	E
項目 1	赤外線通信機能に関する制限事項			
項目 2	A/Dの変換時間選択に関する制限事項		×	
項目 3	LCD スペックに関する制限事項			
項目 4	16ビットタイマ制限事項			
項目 5	フラッシュ・メモリ書き込みに関する制限事項		×	

注1) 製法規格はパッケージ捺印のLOT番号で左から5桁目のアルファベット表記になります。

注2) 各記号はそれぞれ以下の意味を示します。

- : 制限事項対象外
- : 制限事項修正済み
- × : 制限事項対象 (修正予定)
- : 制限事項対象 (修正予定なし)

3) 使用制限事項の詳細

- 項目 1：詳細は別紙 2 をご参照ください。
- 項目 2：詳細は別紙 3 をご参照ください。
- 項目 3：詳細は別紙 4 をご参照ください。
- 項目 4：詳細は別紙 5 をご参照ください。
- 項目 5：詳細は別紙 6 をご参照ください。

4) その他注意事項

特になし

項目 1 赤外線通信機能に関する制限事項**【内容】**

UART0 の機能の一つである赤外線データ転送モードを使用することが出来ません。
従って、ASIM0 レジスタのIRDAM0 の設定はソフトウェアで常に " 0 " にして下さい。

<旧仕様>

ASIM0	TXE0	RXE0	PS01	PS00	CL0	SL0	IRDAM0
-------	------	------	------	------	-----	-----	--------

IRDAM0	赤外線データ転送モードの動作の指定
0	UART (送受信) モード
1	赤外線データ転送 (送受信) モード

<新仕様>

ASIM0	TXE0	RXE0	PS01	PS00	CL0	SL0	0
-------	------	------	------	------	-----	-----	---

ASIM0 レジスタの0ビット目は " 0 " に設定

【対策】

本内容は制限事項になります。
ドキュメントの改版を行います。

項目2 ADの変換時間選択に関する制限事項

【内容】

メイン発振子 = 10MHz 使用時に選択できる A / D 変換時間の設定を増やす為、「変換時間の選択フラグ」の内容を変更します。

FR02	FR01	FR00	変換時間の選択	
			旧仕様	新仕様
0	0	0	144 / fx	144 / fx
0	0	1	120 / fx	120 / fx
0	1	0	96 / fx	96 / fx
1	0	0	72 / fx	576 / fx
1	0	1	48 / fx	480 / fx
1	1	0	68 / fx	384 / fx
上記以外			設定禁止	

【対策】

本内容は制限事項になります。
ドキュメントの改版を行います。

項目3 LCDスペックに関する制限事項

【内容】

ポート8,ポート9をLCD出力ポートとして使用する時、VLCD2に対するLCD出力電圧偏差が、従来報告しておりますスペックを満たせない事が判明しました。変更スペックは下記のとおりです。

また、seg0~seg23には影響ありません。

<本来のスペック> (Ta = -40 ~ +85)

項目	略号	条件			MIN.	TYP.	MAX.	単位
LCD注 出力電圧偏差(セグメント)	VOD S	IO=±10A スティック 1/3バース	ゲイン 1.2 ゲイン<1.2	1.8V VDD 5.5V	0		±0.2	V

<暫定スペック> (Ta = -40 ~ +85)

項目	略号	条件			MIN.	TYP.	MAX.	単位
LCD注 出力電圧偏差(セグメント)	VOD S	IO=±10A スティック 1/3バース	ゲイン 1.2	1.8V VDD 5.5V	0		±0.2	V
			ゲイン<1.2	2.7V VDD 5.5V	0		±0.2	
				1.8V VDD<2.7V	0		-0.2/+0.3	

注 電圧偏差とは、セグメント出力(VLCD)に対する出力電圧との差の事です。

【対策】

本内容は制限事項になります。
ドキュメントの改版を行います。

項目4 16ビットタイマに関する制限事項**【内容】**

16ビットタイマ0nのワンショットパルス出力モードにおけるカウンタクリア&スタートの要因がソフトウェアトリガ(OSPTn=1)と外部トリガ入力(TI入力)のAND条件となっています。どちらか一方を選択することが出来ません。(n=0,1)

そのため、ソフトウェアトリガで発生した自分自身の出力パルスで再度トリガが発生し、その結果ワンショットではなく、PPGと同様の動作を行ってしまいます。

【対策】

大変申し訳ありませんが、ユーザーズマニュアルからワンショットパルス出力機能の記載を削除いたします。

項目6 フラッシュ・メモリ書き込みに関する制限事項

【内容】

FlashPro を用いた、UART 通信以外の通信による書き込みにおいて、フラッシュ・ファームが高速のメイン・クロックに十分対応できない場合があるため、「E.P.V コマンド」または「Program コマンド」でのフラッシュ・メモリの書き込みにおいて、2.7MHz 以上のメイン・クロックを使用すると、ベリファイエラーが発生する場合があります。

尚、発生率は非常に低いと考えられます。

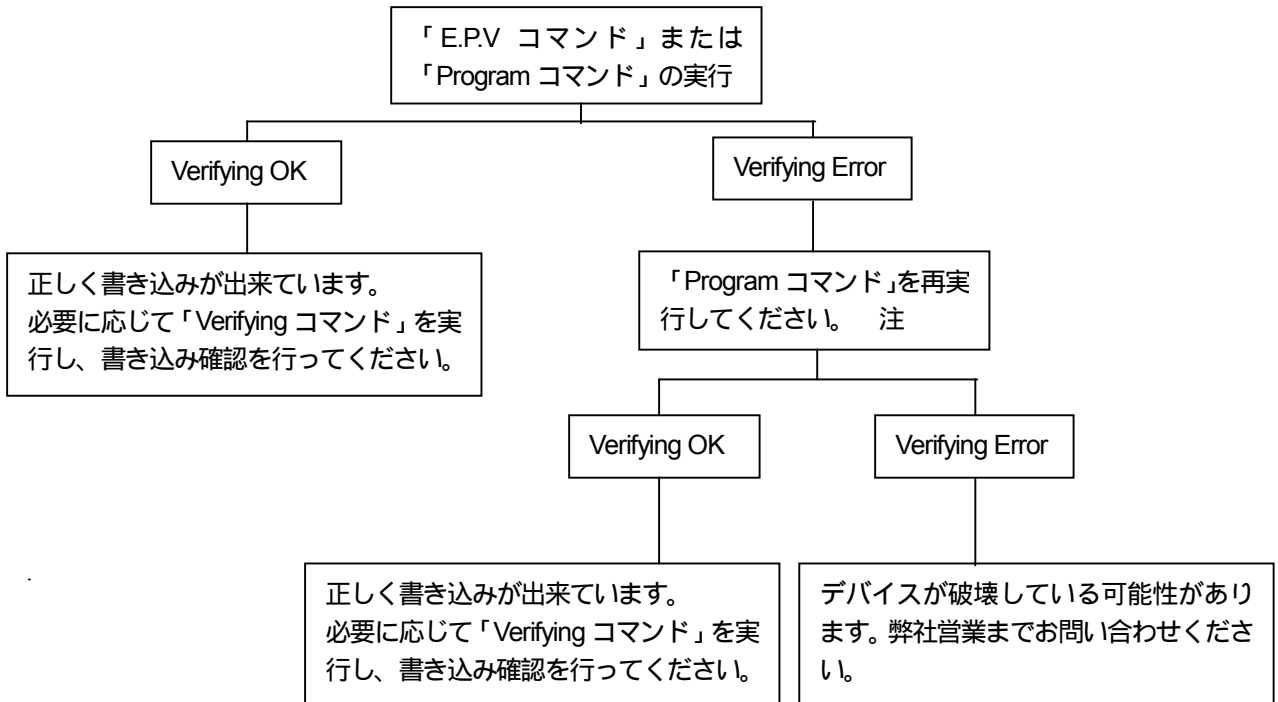
【回避策】

ベリファイエラーが発生した場合は、下記内容にしたがって再書き込みを行ってください。これにより正常書き込み時と同品質の書き込みが可能です。

通信方式	発振周波数	
	fx 2.7MHz	fx > 2.7MHz
UART	通常書き込み	通常書き込み
SIO3	通常書き込み	ベリファイエラーが発生した場合、再書き込みを実行 (詳細再書き込みフロー参照)
IIC0	通常書き込み	

注：上記以外のフラッシュ書き込み条件はデータシート記載のスペックに準拠します。

ベリファイエラー発生時再書き込みフロー



注 「Program コマンド」のみ実行可能です。
「E.P.V コマンド」は実行しないでください。

備考 ここでの「Program コマンド」実行は、書き換え回数にカウントしません。
上記フローによる書き換えを行った場合も、書き換え回数は20回 [max.] です。

【恒久対策】

デバイスの修正を行います。